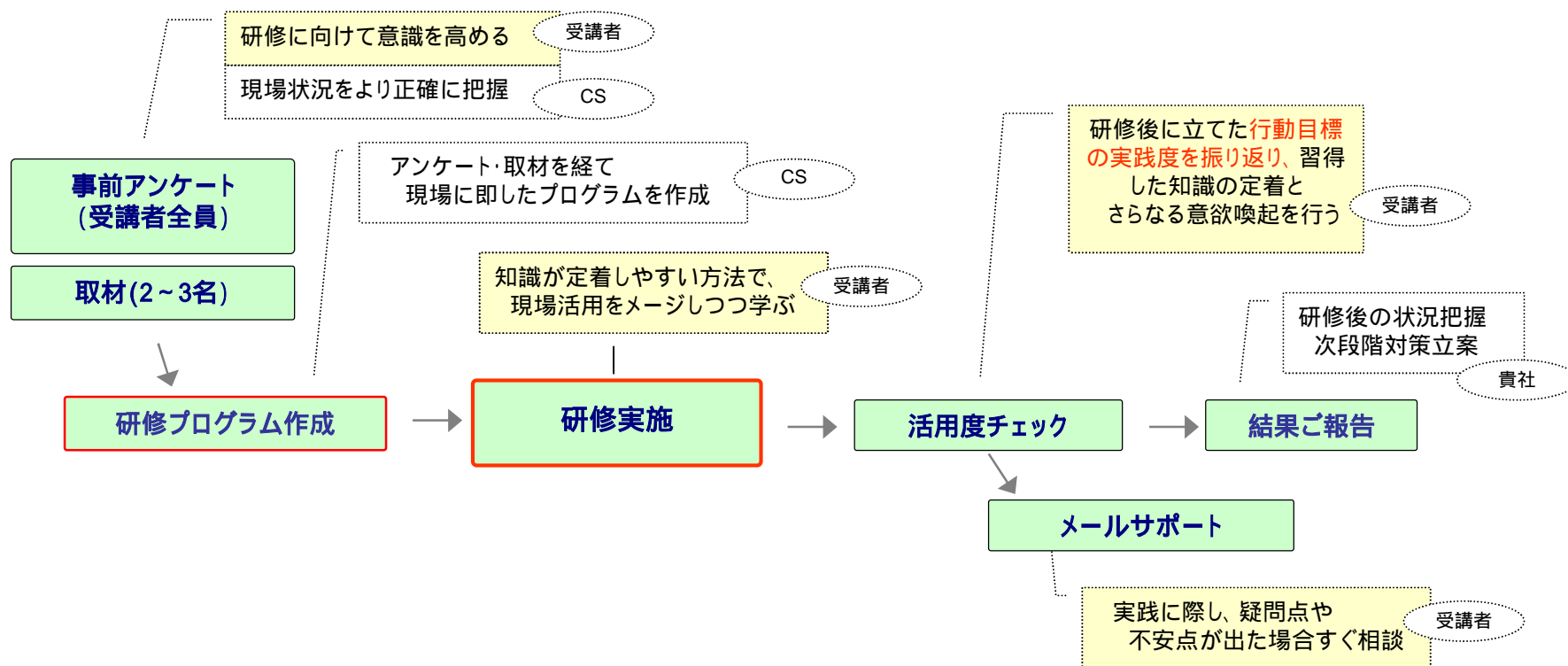


オリジナルプログラム作成の流れ、効果イメージ



状況や目的にあったオリジナル教材の準備

受講者及びご担当者さまへの事前アンケートや取材を通して「職場で必要とされていることは何か」「会社としてのスタンスや研修に求めること」など、実情に即したプログラムを構築。受講者自身、自分を重ねることが出来るケースを作成し、そのケースを用いての演習やディスカッションを通し、現場で使える知識の習得を狙う。

研修効果を持続させるためのサポート体制の整備

研修中、どうしても質問し難い個別の内容など、研修後もそのまま抱え込んでしまうことのないよう「メールサポート」を活用。また研修後に行う「活用度チェック」によって、研修で得た知識が現場で活用出来ているのか、活用出来ていない阻害要因は何かを把握。